

[第645回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、会議室での審議を止め、委員全員に書面参加で対応してもらった。書面提出の期日を令和4年3月17日（木）とした。

2. 開催場所 上記参照

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

※ 新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため書面参加で対応

書面参加の総数 6名

書面参加の委員氏名

成瀬 國晴	河内 厚郎
たつみ 都志	鎌田 雅子
萩原 章男	内田 透

4. 議題

1) 番組審議（書面参加） 『ほんまもんだヨ！工藤あやのです』

2) その他

5. 議 事 の 概 要

議題 1) 『ほんまもんだヨ！工藤あやのです』

について、番組の企画意図・内容の資料をご覧のうえ、番組を聴取してもらい、書面でご意見を提出してもらった。

6. 審 議 内 容

社 側 <番組資料を送付>

「ほんまもんだヨ！工藤あやのです」（毎週木曜日 21:00～21:30）は、歌手である工藤と原田が、工藤の曲を織り交ぜながら、工藤本人の話題をメインにトークを繰り広げる 30 分の番組。出演者は工藤あやのとラジオ大阪アナウンサー・原田年晴。

工藤あやのは、山形出身で今年デビュー10周年を迎える歌手。

以前、ラジオ大阪で放送していたお昼のワイド番組「ほんまもん原田年晴です」にてアシスタントをしていた縁で、2年ほど前の2020年1月から、工藤本人の「いつかまたラジオ大阪で番組を持ちたい！」という希望もあって始まった。

今回は、2021年11月4日と2022年1月20日に放送した、原田の工藤への想いがあふれた2回分。親子ほど年の離れた2人が、毎回腹を割った話をするので、素の工藤あやのを楽しんでもらい、応援してもらいたい。

<各委員の書面でのご意見>

委 員

女性演歌歌手というと、しっとりおしとやかな方が多いような印象があるが、この番組の最大の魅力は、工藤あやのさんの天性の明るさ、にぎやかさにあると感じた。リスナーを元気にする力があり、原田年晴さんの落ち着いた語り口調との相性もいい。少々乱暴な口調になるところもあったが、そこはご愛敬。楽しい気分になれる番組で、工藤さんの歌唱力とのギャップも魅力的。

11月4日放送分、1月20日放送分のいずれも、目玉は中間のトークコーナー。11月4日の回では、東海ラジオで工藤さんと番組をご一緒されている井田勝也アナウンサーが局をまたいでサプライズ出演され、本気の驚きぶりに工藤さんの素顔を見るようでおかしかった。原田さんの役者

ぶりも相まって、序盤の「どっきり」ではリスナーも騙された。井田さん、原田さんの話を聴きながら、工藤さんの愛されキャラぶりが伝わってきた。

1月29日分では、師匠の作曲家、弦哲也さんとの会食の話に心温まった。2年ぶりの新曲「白糸恋情話」のヒットを心から願ってくれる師匠夫妻。直筆の手紙を送り、弟子を心から応援する思いやり。「そこまでおっしゃるということは、弦先生もこの曲を気に入ってくださっている。でも、伝えるのはあなた」と工藤さんを励ます原田さんの言葉も、何気ないようだが温かさを感じた。

30分番組で、トーク3回、歌3曲という構成もちょうどいい。工藤さんのオフィシャルサイトを見ると「白糸恋情話」がamazon売れ筋ランキング（歌謡曲）で1位達成と出ていたが、この曲のヒットと、番組のさらなる充実を期待する。

委員 原田アナウンサーが工藤あやのさんにとことん肩入れする番組。新曲紹介やイベントのプロモーションが多く時間を占めるが、押し付けられた感じのしない、楽しい番組となっている。工藤あやのさんは、デビュー10年と芸歴も長いが、歌や人生に対するひたむきさをフレッシュに表現されていて、原田アナの応援したい気持ちに素直に共感できる。

また、例えば東海ラジオの井田アナウンサーに感謝しつつも「型にはまって窮屈そう「（みちのく娘として）三等分すな」と遠慮なくぶった切るあたりは、観察力とストレートな表現力に感心して聞いた。原田アナを信頼して言葉の行き過ぎやわかりにくさを預けられることが、とにかく自分らしく表現してみるという言葉の生きの良さにつながっているのではないかと思う。内容が自分自身と歌に偏っているが、トークの世界を二人で広げていかれてもいいのではとも期待した。

委員 工藤あやのさんが天真爛漫な感じで、ベテランアナウンサー原田さんに対しても自分らしさをだし、原田さんは娘のように工藤さんを応援している感じがでてるお二人の信頼関係がわかる番組だった。

この歳の差のお二人が組み合わせさったことで工藤さんの明るさも際立ち、また原田さんが工藤さんのPR話をうまく引き出しているのがわかり、微笑ましい空気感が漂っていた。

一点気になったのが、原田さんが敬語で、逆に工藤さんが敬語なしで話をされているのが少し違和感というか、工藤さんがすごく幼い印象を受けた。とはいえ、工藤さんはこの幼さが残る可愛らしい口調と、歌の妖艶な雰囲気とのギャップがいいのかもしれない。

東海アナウンサーの井田さんが登場されていたが、アナウンサーお二人で思っきり持ち上げてくれて、工藤さんの無邪気な明るさが前面に出て本当に工藤さんが楽しそうだった。

工藤ファンにはたまらない番組なんだと思う。お二人の息のあった掛け合いが最初から最後まで楽しい申し分ない番組だった。

委員 11月4日の放送では、名古屋のポン酢制作に関わっているというゲストは、東海ラジオの三木アナウンサー（どおりで滑舌がいいはずです）だと知った時の工藤さんの驚きは<ほんまもん>で、むせているのもリアル。こっちも思わず笑ってしまった。

工藤さんの表裏のない、あっけらかんとしたキャラクターに好感が持て、原田アナウンサーのお気に入り、という感じがビンビン伝わってくる。新曲「白糸恋情話」が泉鏡花の「義血侠血」を題材にし、工藤さんがその小説を読んだ、とまで発言されている以上、その内容をちょっと紹介してほしいかった。そうすれば演歌に箔がついたと思う。

また「滝の白糸」（ヒロインの名前）という題名で新派や映画、オペラにもなっていることを話すと、年配の人たちは親近感を覚えたと思う。

「義血侠血」は今では青空文庫では簡単に読めるが、文庫なんかには出ていないということも。

1月20日の放送は、普段のしゃべりのテンション（にぎやか；明るい）と、歌の歌唱力（艶っぽい）のギャップがすばらしい。

工藤あやのさんのトークはテンポがよく、時々わざと（？）入る東北なまりがとてもいい。原田さんへの突っ込みも好感が持てて、また聞きたくなる番組だと思った。

新曲「白糸恋情話」の紹介時、やはり内容への言及が欲しかったと思う。

総論として、元気をもらえる、とても明るい番組だった。工藤あやのさんの魅力が百パーセント発揮された番組だと思う。

彼女の通常のおしゃべりは抑揚も喜怒哀楽も全部発揮されていて、本人が目の前に居るような錯覚を持たされる。

委員 名古屋でポン酢を作っているのが実はアナウンサーで、東海ラジオで工藤あやのと番組を持っているという話は面白かった。

しっとりとした歌よりポップス風演歌のほうが向いているのではないかと感じた。演歌はもちろん下手ではないが、石川さゆりの二番煎じというか、

まだ十分には個性が発揮されていないようだ。シャンソン歌手・ザーズのように、古い曲想を新しい曲調で歌うのが向いている。

「エネルギーが和服を着て動いている」通り、一刻も休まず、エネルギーを発散している。

喋り方は男っぽくて色気はさほど感じられないが、師匠の作曲家・弦哲也がギターを弾きすぎて右手がグーでしかボールペンを握れなくなっているのに、それでも直筆の手紙を工藤あやのに書いて励ましてくれたという話にはホロっとさせられた。

やわらかい関西弁の原田年晴さんの受け応えが自然で軽やかでさすがと思わせるが、ちょっと気になったのは、泉鏡花の小説を紹介するくだりで、金沢に言及したところ。「小京都というなかれ」キャンペーンがあるくらいで、東京にはもう残っていない江戸情緒が金沢だけには残っていると言われている。邦楽でも江戸の邦楽が根づいている。

番組としては愉快でおもしろく、たのしく出来ていた。

委員 毎週木曜日の21時～21時半までの落ち着いた時間だが、朝の番組のような工藤のはりすぎのオープニングに違和感を感じる。

原田年晴アナの落ち着いた感じとは違って、パワーがありすぎて早口で聞き取りにくく落ち着きがない。もう少しリスナー目線で話してはどうかと思う。節度ないしゃべりで曲名も早口だからわかりにくい。原田アナのじゃじゃ馬馴らしの手綱取りがうまいからなんとか行けている感じだ。

11月4日分の「大阪なう」は、名古屋のポン酢の話で大いに期待したが、この話がどこかに消え名古屋での番組宣伝とお互いのほめ合いと新曲話で終わったのはいただけない。コーナータイトルを言ったのだからそこに話をもどさないといけない。11月20日分はかねてから通知している新曲の発売なので、師匠の作曲家弦哲也の話はいいしエピソードもセレはそれなりであった。新曲「白糸恋情話」なかなかいい曲だった。ここでも一度11月4日で放送した泉鏡花の小説を題材にした話がいったのではないか。

社側 書面での貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

な し

8. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・「番組審議会だより」 (第645回大阪放送番組審議会議事録の要約)
「愛してラジオ大阪」 内で放送
放送日 令和4年4月27日(水) 22時50分～23時00分
- ・「番組審議会だより」 (第645回大阪放送番組審議会議事録)
ラジオ大阪ホームページ (<http://www.obc1314.co.jp>) に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

9. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上